

思わぬ大雪が降ったり、コートのない陽気になったり、落ち着かない気候です。とはいえ立春もすぎ、春の息吹が届くのもまもなくです。待ち遠しいですね。

## お知らせ

- ・ アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第4回 2月9日(土) 草志舎
- ・ タイ交流旅行 2月11日(月)~16日(土)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘冬作業 2月19日(火)
- ・ アメニティ・アカデミー 第 期セミナー第5回 3月9日(土) 草志舎
- ・ 歴史的建築物研究会 民芸の美術館巡り 3月23日(土)
- ・ ヴォーリズ六甲山荘大掃除&研修 3月30日(土) 4月5日(金)

## 予告1

### 歴史的建築物研究会~民芸を訪ねる美術館めぐり

3月の歴史的建築物研究会は趣向を変えて、美術館巡りです。昨年濱田庄司を記念する益子参考館の被災支援のために益子焼の展示即売会を開催しました。それを機会に濱田庄司展や河井寛次郎の記念館および民芸運動に縁のある美術館を貸切バスで回ります。各美術館では学芸員の解説を聞きながら見学します。春の一日土のにおいのする器を見て楽しみましょう。

月日 2013年3月23日(土)

行程 東洋陶磁美術館 大阪日本民藝館 大山崎山荘美術館 河井寛次郎記念館  
参加費 会員 6,500円 一般 7,500円(入場料、貸切バス代込み、昼食代は別途各自負担)

## ご報告1 新年会 2013年1月13日(日) 草志舎

大勢が集まった楽しい会でしたワーキングホリデーの学生スタッフの山北さんも参加してくださいました。皆さんからの持ち寄り、ごちそうさまでした!踊り、リコーダー、独唱・・・と会員方々の多芸ぶりも堪能できました。



## ご報告2 歴史的建築物研究会 1月24日(木) 大阪

午前日は日頃入れない日本銀行の内部見学(二セ札の見分け方も覚えました)と大同生命ビルでヴォーリズと浅岡家の展示見学。昼食は日今橋消防署の建物でのイタリア料理。午後は高岡伸一先生の案内で船場界隈のレトロビルを見て歩き、浪花教会、芝川ビル、青山ビル、船場ビルでは事前の交渉のおかげで内部も見学させていただき、充実した一日でした。近年こうしたレトロビルを上手に活用する動きが盛んなのは本当に心強いことです。この企画を最初から実行して下さった企画スタッフのお二人に拍手!です



中庭を囲む船場ビル

## 予告2

### ヴォーリズ六甲山荘大掃除&スタッフ研修

六甲山荘の公開が4月6日(土)から始まります。それに備えてスタッフの研修を行います。これまでにガイド経験のある方はブラッシュアップのために、未経験の方でもやってみようかと思っておられる方もぜひご参加ください。同時に屋内外の掃除と室内の設営、喫茶の準備なども行います。

まだ少し寒いかもしれませんが、久しぶりの山荘へどうぞおいでください。

月日 3月30日(土) 4月5日(金) 午前10時

【コラム】

1月歴史的建築物見学会企画

福富牧子、森田和子

11月半ば、船場の街作りに熱心な建築家でレトロビル案内人もされる高岡先生に出会い、是非アメニティの街歩きにお勧めしたいと事務局長に話したのが始まりでした。他に日本銀行大阪支店見学の話もあり「お二人で1月街歩きの企画を担当されませんか？」と思いがけないお言葉。すぐに動き出さなければ間に合わないと思い決断より先に段取りを確認するうち、いつの間にかスタートしておりました。

下見は、普段の街歩きと違い具体的な目的があるので緊張気味でしたが、交渉等出会う方々が好意的で話も弾み、又歩くたび新たな企画も生まれるので引き算に苦慮しつつ、理事長はじめご心配いただいた役員の方々のご指南もあってやっと行程表を形にすることが出来ました。

当日は何より好天に恵まれ、皆様にも喜んでいただけたようでホッとしております。案内人の高岡先生が快く街歩きを引き受けて下さったことが何よりでした。先生の熱心さは地元の方も太鼓判を押しておられ、次世代の街作りに皆さんで知恵を絞っておられるそうです。

個性豊かな小さなレトロビルは現代の人を魅了し船場の彩となりライトアップ等新たな役目に街ゆく人の心を和ませているのですね。2ヶ月間でしたが淀屋橋界隈の話題絶えることなく、アメニティならではの同好の方々との経験でもあり、今までにない充実感を味わいました。皆様の温かく心強いご支援にも感謝申し上げます。有難うございました。



大同生命ビル

予告2

＜アメニティ・アカデミー＞  
セミナー「読み解く心を育む」開講しています

アメニティ・アカデミーの第 期(第)のセミナーは当協会の理事、監事の方を講師にお招きして、「読み解く心を育む」というテーマで、第一線で活躍しておられるそれぞれのお仕事から見える文化や社会の姿について、お話を伺います。お話のあとは講師を囲んで懇談の時間ももつけます。得がたいこの機会にぜひご参加ください。

第4回 2月 9日(土) 講師：山田康子(監事、弁護士)「結婚・離婚の境界から」  
第5回 3月 9日(土) 講師：島田恒(監事、経営学者)「NPOが拓く社会」

受講料：1回 会員 2,000円 一般 2,500円  
会場：草志舎 定員：30名(定員に達し次第締切ます)

トラスト・ユース・センターの準備会

若い人たちの活動への参加を促したいとたちあげるエデュケーションセンターをトラスト・ユース・センターと名づけました。若い力に協会の今後は託したいという思いをこめての命名です。早速に準備会を2回ひらき、阪神間の大学を中心に人材を募集する計画です。募集要項ができましたら、皆さんにお配りします。お知り合いに大学生がおられましたら、どうぞお誘いください。

お薦めの本

福永武彦著 「愛の試み」

鳥居 真知子

『愛の試み』は、「文芸」の昭和31年1～6月号に、「新恋愛論」と題して連載され、同年の6月に『愛の試み』と改題されて河出書房より出版された。現在は新潮文庫で、時代を超えて多くの人々に読み継がれている。

福永はこの作品について「初めに」の中で精神的な＜愛＞に注目し、「愛の発生から終わりに至る過程を、- 愛の意識、その持続、その作用、その世界を、僕なりに観察してみたい」と述べている。

作品の構成は、章題を付した24のエッセイが展開し、その間に9編の掌編小説が挿入されている。この挿話は、福永の観念的なエッセイを現実的な面から補足し、相乗作用を醸し出している。

福永は、この作品において、＜愛＞の持続の大切さとその難しさを示しつつ、＜愛＞の崩壊までを述べている。しかしこの＜愛＞が崩壊に至った時点で、福永はすかさず＜愛＞は繰り返してであると断言する。彼はこの達成し得ない＜愛＞の繰り返し、つまり「試み」が自己の孤独を強くし、豊かにし、自己の孤独の充実へと繋がっていると説いているのである。

私は、人間は根源的には一人であり孤独であると考えている。しかしこの本を通して、＜愛＞を「試み」続けることが、自己の孤独を充実させ、それはまた充足した死に繋がることを感受した。

(新潮文庫)

## おしゃべりアラカルト

### セミナー「美しいまちづくり」

清水 順子

理事である正司泰一郎さんとお話をする機会は何度もありましたが、このセミナーのようにまとまって伺うのは初めてでした。アメリカ留学時代に「美しいまち」とはどんなものかと目覚められたこと、経済成長を果たして豊かになったはずの日本では「清潔なまち」は実現したが「美しいまち」は大変少ないこと、宝塚市長になって震災復興とからめながらその実現に努力されたこと、そして市長という自治体の長になってもその実現が大変難しかったこと、というお話が実感をこめて語られました。

その実現を妨げているのがランドデザイナーの不在と縦割り行政であると看破され、実例をいくつもあげられました。わずか200メートルほどの道路沿いにデザインがバラバラの街灯が7基も立っているという景色。周囲の景観など無視していつも同じ定型の体育館を提案する設計会社。音楽ホールを建てるのに「最適な立地条件」より「使える

土地」を優先する自治体。同時にそういう行政を許してきた（あるいは我慢してきた）私たち市民にもその責任の一端があるとも指摘されました。

1月の歴史的建築物研究会で訪れた船場界隈ではレトロビルを上手に活用している例がいくつもありました。このような動きはこのところ全国で見られるようです。その一方でつい最近も夙川にあったヴォーリス設計の住宅が消滅しました。私たち市民はあきらめず、ねばり強く活動を続けるしかありません。行政に反映されるには時間がかかるにしろ、人々の意識が変わることを願いながら。



### <神戸ワーキングホリデー2012の感想文>

神戸にいった4日間は、本当に震災のことを忘れてしまうほど、楽しかったです。地元福島は、メディアでは原発中心の報道で終わってしまっているのですが、実は地震、津波、火事、原発と四つの被害でありました。原発の名前が他県と違い地名でなく、福島が入ってしまっているため、福島県全体が風評被害にあっています。そのため、福島県民の心はもちろんのこと、私も以前よりは、心配と不安ばかりだったのですが、今回のワーキングホリデーを通して、神戸の方たちのあったかい心と福島のことを非難せず、話を親身になって聞いてくれることに感動し、福島を見捨てないでいてくれることにとても勇気づけられました。ありがとうございます。関西の方たちが福島のことを応援してくれていることを忘れず、辛いときにはワーキングホリデーのことを思い出してこれからどんな困難にも立ち向かっていきたいと思います。4日間大変ご迷惑をかけたと思いますが、ありがとうございました。本当たのしかったです！ I♥Kobe

### 「神戸ワーキングホリデーに参加して」

7月、私は学校から福島県へワークボランティアに参加する予定でした。しかし両親から反対を受け、東北入りを断念しました。ボランティアチームが東北へ出発する直前まで行く準備をしていたので、東北へ行けなくなったことをとても残念に思っていました。だからその分神戸 W.H. で福島県の同じ年代の女の子たちと交流が出来るという貴重な機会を大事にしたいと思って今回のワーキングホリデーに参加しました。最初の企画などには参加できていなかったため、プログラムの内容や自身の動きに不安もありましたが、急にパディを組ませてもらえることになってとても嬉しかったです。

伊丹空港で東日本から来た皆を迎えたときは笑顔がとても印象的で、「思っているよりもすごく元気そうだ」と感じました。「神戸は暑いなねえ」などたわいもない会話をしているときは、彼女たちが被災した地域から来たことを忘れるくらい普通に接していました。しかし震災のこと、津波のこと、彼女たちが体験したこと、そして“今”体験していることを聞くうちに、衝撃を受けました。被災地の様子はテレビや新聞、インターネットで知ることが出来ます。けれども震災後、東日本を去っていくクラスメイトを見送る気持ち、避難区域に祖父母を残して非難する人の気持ち、狭くて不自由な仮設住宅で暮らす気持ちなど、様子を見ているだけでは伝わらないものが、パディのマリちゃんの言葉で知ることができました。「40人ほどいたクラスメイトが、学校が始まって集まってみたら半分以下に減っていた。福島県を出るって連絡をくれる子もいたけど、連絡の途絶えてしまった友達もいる」という話を聞いて、もし私だったらすごく辛いだろうし、こんな形で別れるのはすごく寂しいなと思いました。命があるだけでも良かったのかもしれないけれど、復興しようと頑張っている横で、友達が自分の町から出て行ってしまったら悲しいと思うと思います。

マリちゃんたちが私と同じ歳で私の想像を超えたような辛い経験をしているのだなと改めて思いました。また辛い経験をしながら、それを事実として淡々と捉え、笑顔を失わずに今後を見据えて歩んでいるマリちゃんたちの強さを感じました。

ボランティアを必要としている人はまだまだたくさんいると思うけれど、被災者の人たちはかわいそうなんかじゃなくて自分の力で前を向いて復興のために頑張っていました。そんな前向きに頑張っている被災者の人たちを、私も、私なりの協力の仕方

## 六甲山上の案内図に

六甲山の道路脇にある自治会の案内図にヴォーリス六甲山荘が掲載されました。山へ上がったときに確かめてください。



ヴォーリス  
六甲山荘

## アメニティ・レポートの原稿募集

5月末の総会にあわせて発行するアメニティ・レポート2012の「会員の声」への原稿を募集します。題は自由、日頃考えていること、印象に残ったこと、面白い経験などなど、好きなことを好きなように書いて、お寄せください。

字数：400字前後

締切り：3月末

皆さまの「お声」を楽しみにお待ちしております。

## 六甲山荘たより

### 雪のヴォーリス六甲山荘

1月14日の成人の日、阪神間には雪が降り、六甲山も真っ白になりました。翌日スタッフが上がってみると、敷地には雪が10センチほどもつもっていました。あちこちで木の枝が折れたり、幹の途中から折れた木もありました。幸い建物には被害はありませんが、十何年ぶりのドカ雪とのことで、後始末が大変だと思われまます。昨年の冬は水道管が破裂。今年は枝折れ。やはり山の冬は厳しいですね。



写真・岡本正美

## 1月歴史的建築物研究会（大阪探訪）で訪れた建物



日本銀行大阪支店

## 大阪探訪の後日談

1月の歴史的建築物研究会で訪問した船場界隈の建物探訪についての情報です。

### \*テレビ番組（再放送）

私たちもご案内を受けた高岡伸一先生が登場して先日回ったところやそれ以外のビルも紹介されます。参加できなかった方も、参加された方も復習のつもりで、どうぞご覧ください。

日時 2月17日（日）昼12時

BS朝日 「百年名家」

### \*スタンプラリー

高岡先生からのご連絡です。近代建築をテーマに大阪商工会議所が「船場レトロ建築スタンプラリー」を始めました。（3月24日まで）船場建築マップももらえます。これから船場界隈を回ろうという方、どうぞご利用ください。



旧今橋消防署



浪花教会